

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
320274	XZY2320274			国際学部国際文化学科	専門	選択	3年
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	3年
				情報文化学部情報文化学科	×	×	×
		2	後期	情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	×	×	×
英文講読2	臼井 陽一郎			情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	×	×	×

授業目的

村上春樹のアンデルセン文学賞スピーチを読む。人間一人ひとりの徹底的な無力さを思い知らせる圧倒的に残酷な現実に対して、文学がどのように立ち向かっていけるのか。政治に対する文学の可能性を展望したい。加えて、さまざまな短文を事例に自由な翻訳を体感してみる。文法通りの機械翻訳を人間がやるような受験英語からは完全に決別し、英文を素材とした日本語の自由な表現を追求する。

なお、この授業は、「高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし」、「グローバルな課題に批判的な問題意識と建設的な眼差しをもって向きあう実践的な態度を獲得する」ための科目のひとつである。

各回毎の授業内容

第1回

【授】導入、スピーチの背景

【前・後】MONKEY 第11号に英語スピーチの日本語版が掲載されているので、目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習。

第2回

【授】スピーチ(1)、翻訳練習

【前・後】テキストの指示した箇所を熟読しておくこと。4時間相当の事前事後学習。

第3回

【授】スピーチ(2)、翻訳練習

【前・後】授業で取り上げた箇所の一部を自分自身で翻訳し直してみること。テキストの指示した箇所を熟読しておくこと。4時間相当の事前事後学習。

第4回

【授】スピーチ(3)、翻訳練習

【前・後】授業で取り上げた箇所の一部を自分自身で翻訳し直してみること。テキストの指示した箇所を熟読しておくこと。4時間相当の事前事後学習。

第5回

【授】スピーチ(4)、翻訳練習

【前・後】授業で取り上げた箇所の一部を自分自身で翻訳し直してみること。テキストの指示した箇所を熟読しておくこと。4時間相当の事前事後学習。

第6回

【授】スピーチ(5)、翻訳練習

【前・後】授業で取り上げた箇所の一部を自分自身で翻訳し直してみること。テキストの指示した箇所を熟読しておくこと。4時間相当の事前事後学習。

第7回

【授】スピーチ(6)、翻訳練習

【前・後】授業で取り上げた箇所の一部を自分自身で翻訳し直してみること。テキストの指示した箇所を熟読しておくこと。4時間相当の事前事後学習。

第8回

【授】さまざまな短文を利用した翻訳の練習、集中日。

【前・後】授業で取り上げた箇所の一部を自分自身で翻訳し直してみること。テキストの指示した箇所を熟読しておくこと。4時間相当の事前事後学習。

第9回

【授】スピーチ(7)、翻訳練習

【前・後】授業で取り上げた箇所の一部を自分自身で翻訳し直してみること。テキストの指示した箇所を熟読しておくこと。4時間相当の事前事後学習。

第10回

【授】スピーチ(8)、翻訳練習

【前・後】授業で取り上げた箇所の一部を自分自身で翻訳し直してみること。テキストの指示した箇所を熟読しておくこと。4時間相当の事前事後学習。

第11回

【授】スピーチ(9)、翻訳練習

【前・後】授業で取り上げた箇所の一部を自分自身で翻訳し直してみること。テキストの指示した箇所を熟読しておくこと。4時間相当の事前事後学習。

第12回

【授】スピーチ(10)、翻訳練習

【前・後】授業で取り上げた箇所の一部を自分自身で翻訳し直してみること。テキストの指示した箇所を熟読しておくこと。4時間相当の事前事後学習。

第13回

【授】スピーチ(11)、翻訳練習

【前・後】授業で取り上げた箇所の一部を自分自身で翻訳し直してみること。テキストの指示した箇所を熟読しておくこと。4時間相当の事前事後学習。

第14回

【授】スピーチ(12)、翻訳練習

【前・後】授業で取り上げた箇所の一部を自分自身で翻訳し直してみること。テキストの指示した箇所を熟読しておくこと。4時間相当の事前事後学習。

第15回

【授】さまざまな短文を利用した翻訳の練習、集中日。

【前・後】授業で取り上げた箇所の一部を自分自身で翻訳し直してみること。テキストの指示した箇所を熟読しておくこと。4時間相当の事前事後学習。

第16回

【授】レポート提出日

【前・後】授業中に指示した箇所を翻訳したうえで、その内容を掘り下げるための問い合わせを論じてもらう。しっかりと自分自身の文体を意識して準備するように。

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							50
小テスト・授業内レポート							50
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

学期末レポート50%+毎回のコメントカード50%

なお、ポータルおよび掲示板を通じて、最優秀レポートを公表し、全体の出来具合について講評する。

教科書参考書

ポータルにてダウンロード先を指定する。

受講に当たっての留意事項

とりあげるテキストは日本語訳が出ているが、自分自身の文体を探し求めていくことも翻訳の大切な目的のひとつである。既存訳のコピーは授業中のワークではもちろん試験でも利用してはいけない。内容を理解するために英語力を補足する目的に限定して使うように。

学習到達目標

(1) 英文の意味内容を日本語で表現するにあたって、日本語としての自然さを損なわないするという意識を鍛え上げること。(2) そのためにも、英文の構造に習熟して、一つの文から複数の主語述語関係を柔軟に多様に読み取れるようになること。(3) 日本語表現と英語表現の本質的な差異について、自分なりの認識を確立できるようになること(これが延いては自分自身の文体を自覚した自分なりの英文翻訳システムを作り上げることにつながっていく)。

JABEE

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習